

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と
製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよ
くお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みにな
ったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してく
ださい。

取り付けと接続については、本書の33～40ページを
ご覧ください。



MDLP

WX-S5510S

WX-S5510



警告

安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的な点検する

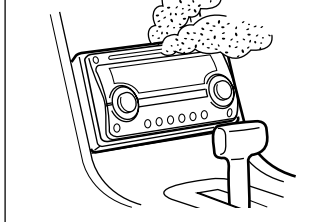
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

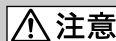
警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
はじめに	8
準備	9
本機をリセットする	9
時計を合わせる	9
デモモードについて	9
CD/MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
本体	12
カードリモコン(別売り)	14

CD/MP3/ATRAC CD・MD

CD/MP3/ATRAC CD・MDを 聞く	15
聞きたいソースを選ぶ	15
聞きたいグループ(フォルダー)を 選ぶ	15
聞きたい曲を選ぶ	15
曲中の聞きたいところを探す	15
表示窓の見かた	16
繰り返し聞く(リピート再生)	17
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	17

ラジオ

放送局を自動で登録する	18
表示窓の見かた	18
旅先などで、登録した放送局が 受信できないとき	19
ステレオ放送が聞きにくいとき	19
FM放送の混信を自動的に軽減する (IF Auto)	19
放送局を手動で登録する	20
放送局を名前で探す(リスト)	21

サウンドの設定

DSOを設定する	22
イコライザーを使う(EQ7)	23
イコライザーカーブを選ぶ	23
好きなイコライザーカーブを 登録する	23
音質や音のバランスを設定する (パス・トレブル・バランス・ フェーダー)	24

その他の操作

音や表示などの設定を換える	25
ディスク/放送局に名前をつける (カスタムファイル・ディスクメモ・ ステーションメモ)	27
名前をつける	27
名前を消去する	28
別売りの機器をつなぐ	29
CD/MDチェンジャーを聞く	29
ポータブル機器の音声を聞く (AUX)	31

取り付けと接続

取り付け部品を確認する	33
接続する	33
システム接続例	35
取り付ける	38

その他の情報

使用上のご注意	41
CDについて	41
MP3について	42
ATRAC CDについて	43
MDについて	44
「グループ機能」について	45
本機の取り扱い	46
カードリモコンの電池の入れかた	46
其他のご注意	47
故障かな?	48
エラー/メッセージ表示	52
保証書とアフターサービス	54
主な仕様	54
索引	56



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する本機の実取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示

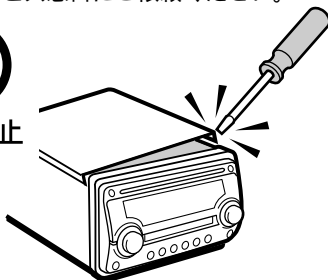


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

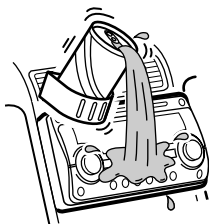


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

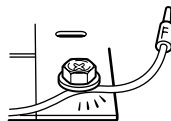
運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類ははさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、次の部品を使うと、制動不能による事故や火災の原因となります。

- ステアリング系統
- ブレーキ系統
- タンク類など



禁止

エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。

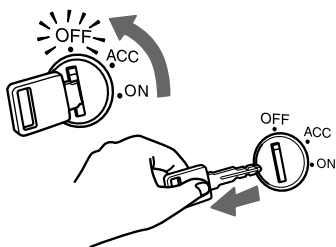


禁止

取り付け、接続作業をするときには、イグニッションスイッチをOFFにするか、キーを抜いておく
イグニッションスイッチをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



指示

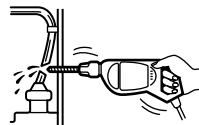


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

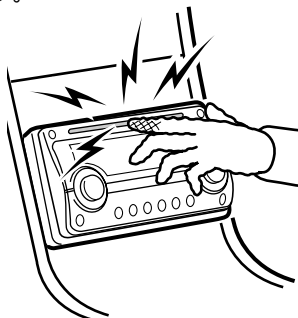


下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



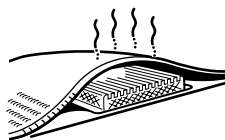
指挟み



本機の通風口や放熱板をふさがない
通風口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止



付属の部品で正しく取り付ける
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



指示

不安定な場所に取り付けない
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

警告

- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

はじめに







- さまざまなフォーマットのCD/MDに対応。
 CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/
 CD TEXT*
 MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW
 (ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeo
 に準拠して記録している)、マルチセッション
 対応
 ATRAC CD：CD-ROM/CD-R/CD-RW
 (ATRAC3、ATRAC3plusフォーマット)
 ソニー製のネットワークオーディオ製品に付
 属しているSonicStage 2.0以降、または
 SonicStage Simple Burner 1.0/1.1などの
 ソフトウェアを使って作成したCDを、車内
 も楽しむことができます。

* ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

MD：音楽用MD/MDLP(LP2/LP4)に対応。グループ機能でアルバムごとの管理ができ
 ます。

- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO
 (ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。
- 好みの音質に調節可能な7バンドイコライザー(EQ7)機能搭載。
- MP3音源などを豊かに再生するBBE MP*機能搭載。
 * BBE MPプロセスはデジタル圧縮技術によって失われた高調波を修復、補修する
 ことにより、MP3などのデジタル圧縮された音声の音質を改善します。BBE MP
 は、最適量の偶数次高調波と奇数次高調波をもとの音から作り出し原音に加える
 ことにより、効果的にやわらかさ、ディテール、ニュアンスなどを再現します。
- タイトル名などの漢字表示対応。
- ポータブルプレーヤーなどを簡単に接続できるフロント外部音声入力(AUX)端子を装備。



オーディオCD	 
MP3 ATRAC CD	   

また、以下に記載した別売りのソニー製機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー
- MDチェンジャー

この取扱説明書では、本機の使いかたのほか、別売りのカードリモコンおよび別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

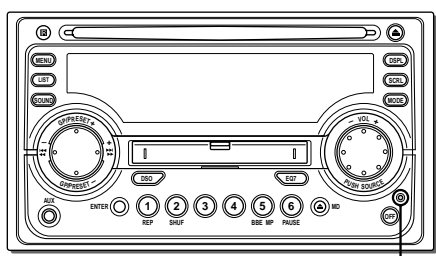
- “ATRAC”、“ATRAC3”および“ATRAC3plus”は、ソニー株式会社の商標です。
- “SonicStage”およびそのロゴは、ソニー株式会社の商標です。

準備

本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

リセットボタンはつま楊枝の先などで押ししてください。針のような物で強く押すと故障の原因となります。



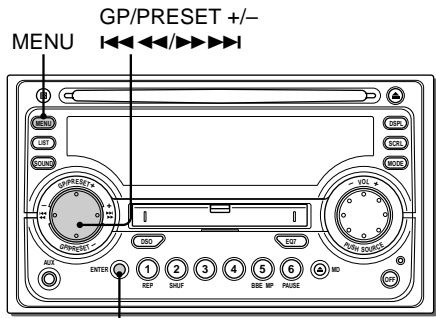
リセットボタン

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDまたはMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDまたはMDを入れないでください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



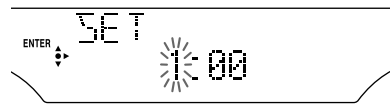
ENTER

1 MENUボタンを押す。

2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「Clock Adjust」を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

「時」が設定可能になります。



① GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「時」を合わせる。

② >>>>を押す。

「分」が設定可能になります。

③ GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「分」を合わせる。

4 ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面が表示されます。

時計を表示させるには

「Clock on」に設定します。(25ページ)

デモモードについて

リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「Demo」(デモモード)を「off」にしてください。(25~26ページ)

CD/MD・ラジオの聞きかた

MDを聞く

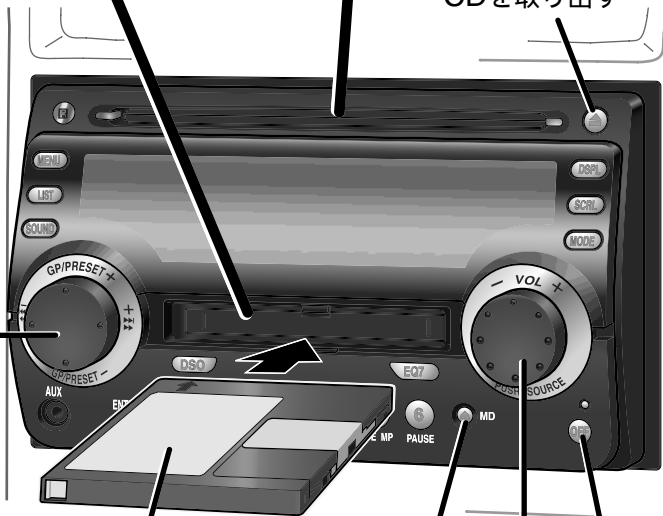
MDを入れる

CDを聞く

CDを入れる
ラベル面を上にして
入れます。

本機では8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因
となりますので、使用しないでく
ださい。

CDを取り出す



ラベル面を上にして
凸の向きに入れます。

MDを取り出す

再生を止める

音量を調節する

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

◀◀◀または▶▶▶を、とばしたい
曲の数だけ短く押します。

▶▶▶ : 次の曲へ進む

◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻す

聞きたいところを探す

(手動サーチ)

◀◀◀または▶▶▶を押し続けて、
聞きたいところで離します。

▶▶▶ : 先に進める

◀◀◀ : 前に戻す

ディスクが入っているとき点灯します。

☐ : MD 🎵 : CD

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」または
「MD」を選ぶと再生が始まります。

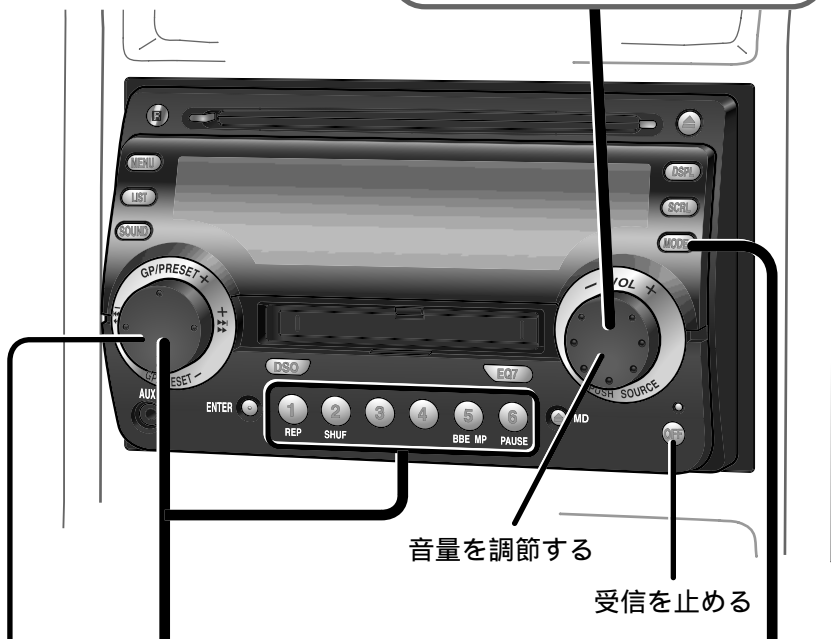
CD再生を一時停止するには
PAUSEボタンを押します。

もう一度押すと再生が始まります。

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

SOURCEボタンを押して「TUNER」を選びます。



音量を調節する

受信を止める

3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。登録のしかたは18～20ページをご覧ください。

2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタンを押すごとに FM1 → FM2 → AM1 → AM2 と切り換わります。

自動選局で受信する(自動選局)
聞きたい放送局を受信するまで、
◀◀◀◀または▶▶▶▶を繰り返し短く
押します。

▶▶▶▶ : 次の放送局を探す

◀◀◀◀ : 前の放送局を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)
◀◀◀◀または▶▶▶▶を押し続け、聞きたい
放送局の周波数に近付いたところで、一度離
します。さらに繰り返し押していくと
0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

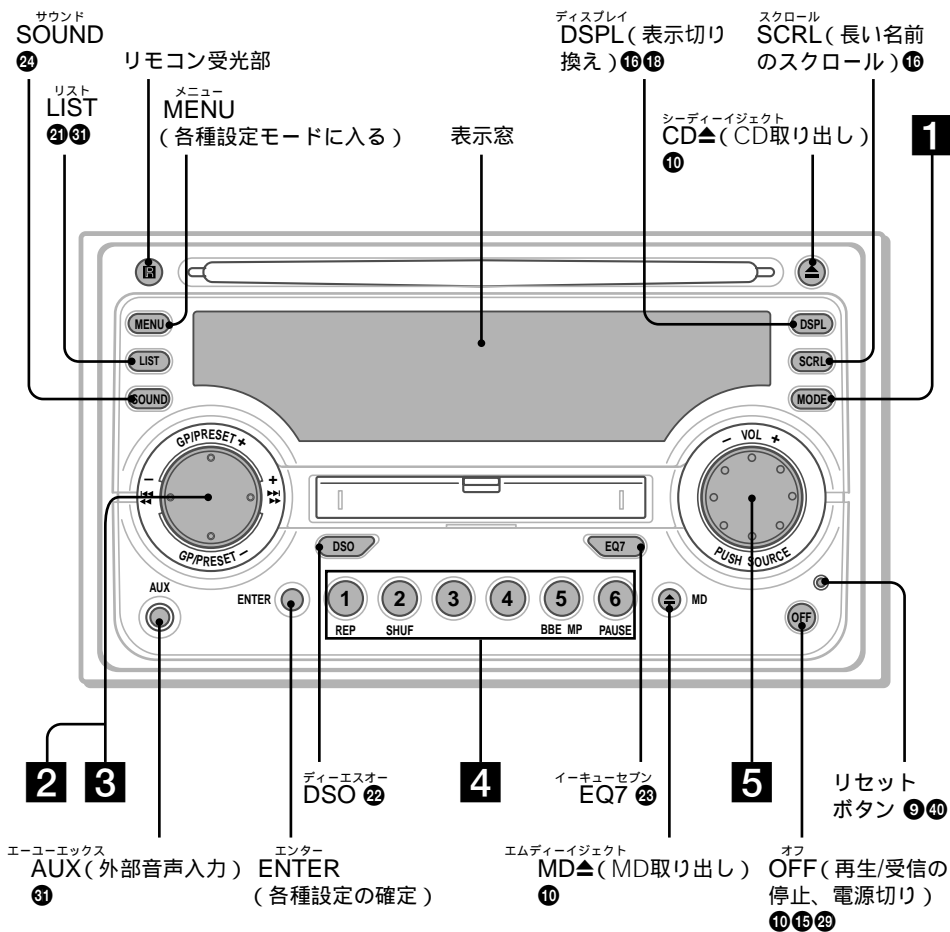
▶▶▶▶ : 周波数の高い放送局を探す

◀◀◀◀ : 周波数の低い放送局を探す

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

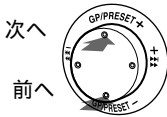
本体



1 モード
MODEボタン

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え 11 18 20
CD/MD	接続機器の選択 29
AUX	Front/Rearの切り換え 32

2 グループ/プリセット
GP/PRESET +/- ボタン
(グループ選択/ディスク選択/プリセット
サーチ)



CD/MD	グループの選択*1 15 30 (短く押す)(長めに押す*2) ディスクの選択*2 30 (短く押す)
ラジオ	登録した局の選局 11 18

3 シーク
◀◀◀▶▶▶ (SEEK) -/+ ボタン
(ラジオ選局/頭出し)

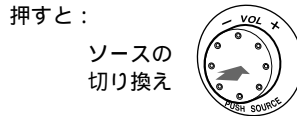
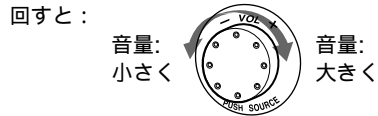


	◀◀◀	▶▶▶
ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける) 11 19	周波数の高い 放送局へ (押し続ける) 11 19
CD/MD	前の曲へ (短く押す) 早戻し (押し続ける) 10 15	次の曲へ (短く押す) 早送り (押し続ける) 10 15

4 数字(1~6)ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 11 18
CD/MD	1: ^{リピート} REPボタン 17 30 2: ^{シャッフル} SHUFボタン 17 30
CD*3	5: ^{ビービーイーエムビー} BBE MPボタン 6 「BBE MP on」にすると BBE MP機能が働いま す。解除するには「BBE MP off」に設定しま す。 6: ^{ポーズ} PAUSEボタン 10 15 再生を一時停止します。

5 ボリューム
VOL +/- ダイヤル(音量調節)/
SOURCEボタン(ラジオ/CD/MD/AUX
切り換え)

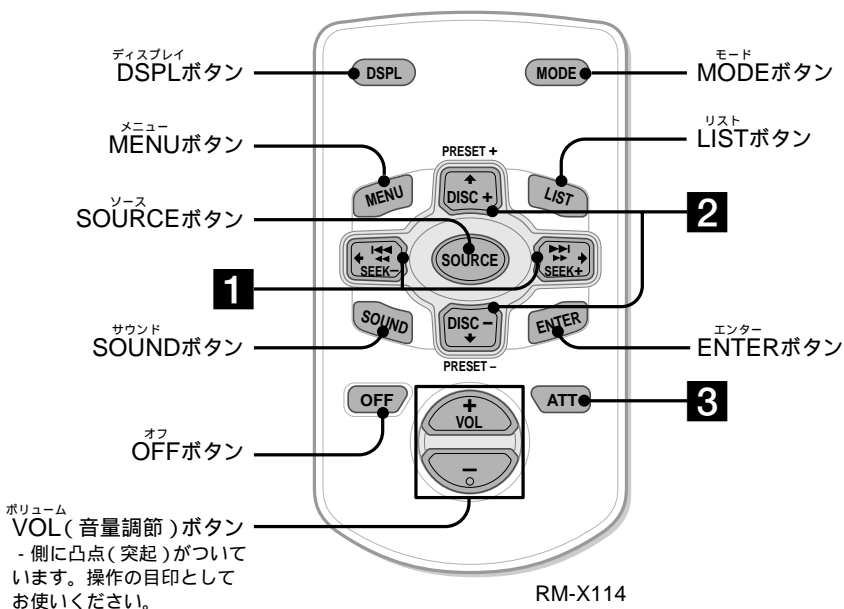


- *1 MP3、ATRAC CD、グループ設定されたMDを本機で再生しているときのみ
別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを再生中は操作が異なります。詳しくは30ページをご覧ください。
- *2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき
- *3 本機でCDを再生するときのみ

ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

カードリモコン(別売り)

本体と同じ名称のボタンは、本体と同じ動きをします。



1 \leftarrow/\rightarrow ($\ll\ll\ll/\gg\gg\gg$ 、SEEK - / +) ボタン
CD/MD、ラジオの操作時は、本体の $\ll\ll\ll/\gg\gg\gg$ ボタンと同じ動きをします。

2 \uparrow/\downarrow (ディスク プリセット DISC/PRESET + / -) ボタン
CD/MD、ラジオの操作時は、本体の GP/PRESET + / - ボタンと同じ動きをします。

3 アッテネート ATT ボタン
音量を瞬時に小さくしたいときに押します。「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。
もう一度押すと、「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ご注意

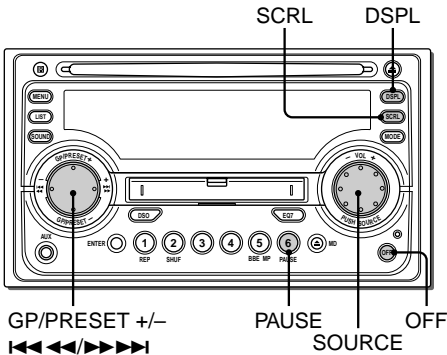
電源を切り、表示窓を消しているときは、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

内蔵のリチウム電池の交換のしかたについては「カードリモコンの電池の入れかた」(46ページ)をご覧ください。

CD/MP3/ATRAC CD ・MDを聞く

本機はCDやMP3ファイル、ATRAC CD、MDを再生できます。また、CD TEXTディスクやMP3ファイル、ATRAC CD、MDを再生中にその文字情報(曲名、アーティスト名、グループ名など)を表示できます。別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続する場合の操作については、29ページをご覧ください。



聞きたいソースを選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、「CD」または「MD」を選ぶ。



*「Clock on」に設定すると表示されます。(25ページ)

聞きたいグループ(フォルダー)を選ぶ

- 1 再生中にGP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し。

次のグループまたは前のグループに1つずつ切り換わり、押し続けると連続して送れます。(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

聞きたい曲を選ぶ

- 1 再生中に◀◀◀または▶▶▶を短く押し。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲中の聞きたいところを探す

- 1 再生中に◀◀◀または▶▶▶を押し続けて、聞きたいところで離す。

再生をやめるには

SOURCEボタンを押して別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

一時停止するには(CD再生時のみ)

PAUSEボタンを押します。もう一度押すと再生が始まります。

MP3、ATRAC CD再生時のご注意

MP3、ATRAC CD再生時は、初めにディスク内の情報(グループ、トラック数など)を読み取るため、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「Read」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

次のページへつづく

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

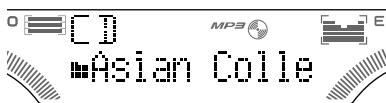
曲番号/再生経過時間



ディスク名*/アーティスト名



グループ名*(MP3/ATRAC CD/MDのみ)



曲名*(CD TEXT/MP3/ATRAC CD/MDのみ)



文字情報(MP3/ATRAC CDのみ)



* ディスク名、グループ名、曲名がついていないときは、それぞれ「NO Disc Name」、「NO Group Name」、「NO Track Name」と表示した後、再生経過時間表示になります。

CD TEXTディスクについてのご注意

- ディスクに記録されている文字数が極端に多い場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- 曲ごとのアーティスト名は表示されません。

MP3ファイル再生時のご注意

次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。

VBR(Variable Bit Rate: 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

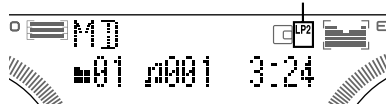
ちょっと一言

- 本機で表示できない文字や記号は「□」と表示されます。
- 文字数が多く、一度に表示されない場合は、SCRLボタンを押してスクロールさせるか、「音や表示などの設定を換える」(25~26ページ)で「A.Scroll on」にしてください。スクロールして表示されるようになります。
- 文字情報は「曲名/アーティスト名/グループ名」が順に表示されます。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。

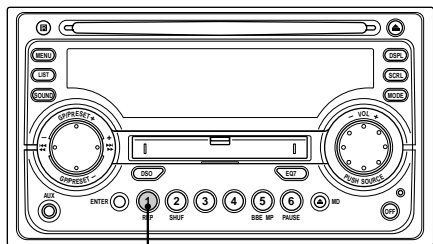
LP2: LP2ステレオ再生時
LP4: LP4ステレオ再生時
表示なし: ステレオ/モノラル再生時



繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはグループ内の全曲を繰り返し聞くことができます。



REP

- 1 再生中にREPボタンを繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

REP Track → REP Group* →
REP off → REP Track → ...

表示	機能
REP Track	再生中の曲を繰り返す。
REP Group*	再生中のグループ内の全曲を繰り返す。

* MP3、ATRAC CD、グループ設定されたMD再生時のみ表示されます。

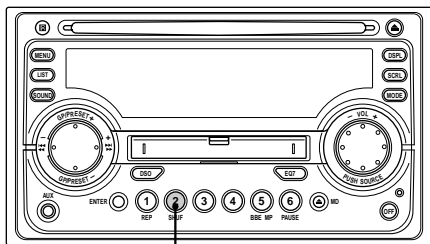
リピート再生をやめるには

REPボタンを繰り返し押し、「REP off」を選びます。

曲順を変えて聞く

(シャッフル再生)

再生中のグループ内の全曲、またはディスク内全曲の曲順を変えて聞くことができます。



SHUF

- 1 再生中にSHUFボタンを繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

SHUF Group* → SHUF Disc →
SHUF off → SHUF Group* → ...

表示	機能
SHUF Group*	再生中のグループ内の全曲を順不同に再生する。
SHUF Disc	再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する。

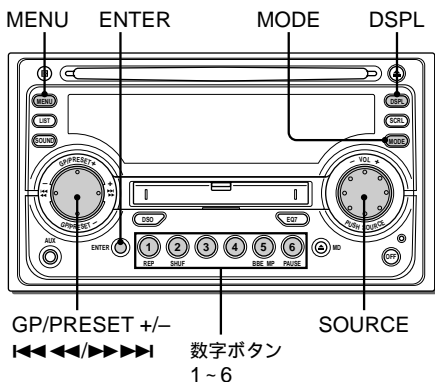
* MP3、ATRAC CD、グループ設定されたMD再生時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

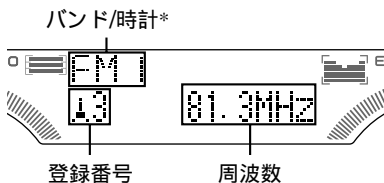
SHUFボタンを繰り返し押し、「SHUF off」を選びます。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。



*「Clock on」に設定すると表示されます。
(25ページ)

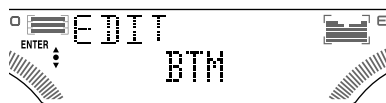
- 2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →
FM1 → ...

- 3 MENUボタンを押す。

- 4 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押して、「BTM」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の画面が表示されます。

登録した放送局を聞くにはラジオ受信中に数字ボタン、GP/PRESETボタンの+または-を押して、聞きたい放送局を選びます。

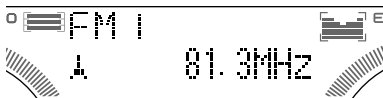
ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されている場合は、それ以降の番号に放送局が登録されます。

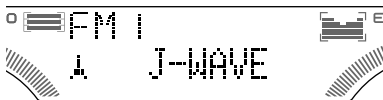
表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

周波数



放送局名*



- * 名前がついていないときは、「NO Name」と表示されます。
名前登録のしかたについては、27ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき

ラジオ受信中に◀◀◀◀または▶▶▶▶を押します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局を受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで◀◀◀◀または▶▶▶▶を押し続けます。聞きたい放送局の周波数に近づいたところで一度離し、さらに繰り返し短く押すと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押す。
 - 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、**「Local」**を選ぶ。
 - 3 ▶▶▶▶を押して**「Local on」**を選び、ENTERボタンを押す。
 放送局を探している間は**「Local Seek +/-」**と表示されます。

ふつうの受信に戻すには
手順3で**「Local off」**を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、**「Mono」**を選ぶ。
- 3 ▶▶▶▶を押して**「Mono on」**を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには
手順3で**「Mono off」**を選びます。

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を**「DSO off」**にすると聞きやすくなります。(22ページ)

FM放送の混信を自動的に軽減する(IF Auto)

受信している周波数の近くに他の放送局があると、混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。本機では、受信する周波数帯域幅を狭めたり、モノラル音声にすることで、自動的に放送を聞きやすくしています(IF Autoモード)。

ステレオ放送を常にステレオ音声で聞く場合は、**「IF Wide」**モードに変更してください。

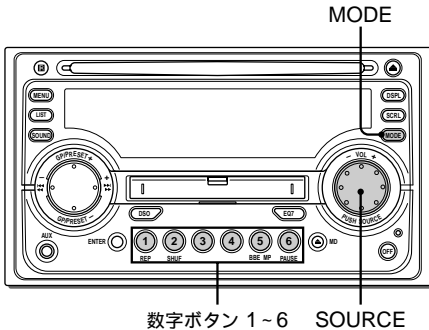
- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、**「IF Auto」**を選ぶ。
- 3 ▶▶▶▶を押して**「IF Wide」**を選び、ENTERボタンを押す。

ご注意

「IF Wide」で雑音が入り聞きにくい場合は、**「IF Auto」**に戻してください。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えます。

1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

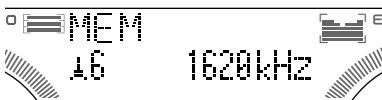
2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →
FM1 → ...

3 登録したい放送局を受信する。(11ページ)

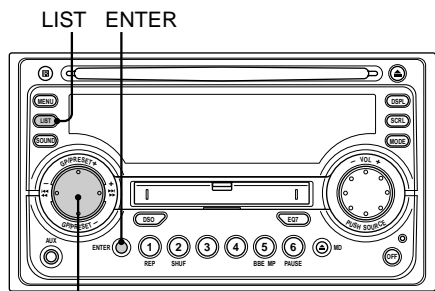
4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。



選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

放送局を名前で探す (リスト)

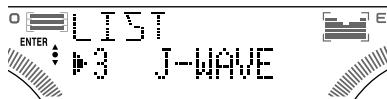
放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。名前の登録のしかたは、27ページをご覧ください。



GP/PRESET +/-

- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



- 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押して、聞きたい放送局を選ぶ。

- 3 ENTERボタンを押す。

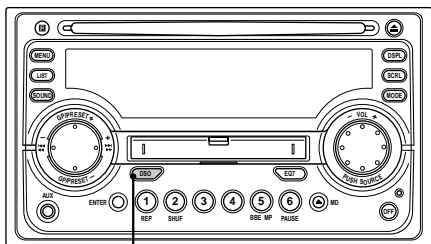
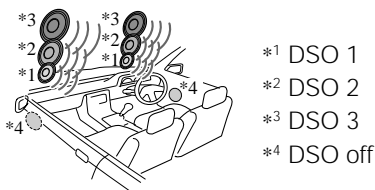
選局が終わると通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名の左側には「▶」が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



DSO

DSOを解除するには
手順2で「DSO off」を選びます。

ご注意

3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO off」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに記憶されます。

1 設定するソース(CD、MD、ラジオまたはAUX)を再生/受信する。

2 DSOボタンを繰り返し押し、DSOモードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

DSO 1 → DSO 2 → DSO 3 →

DSO off → DSO 1 → ...

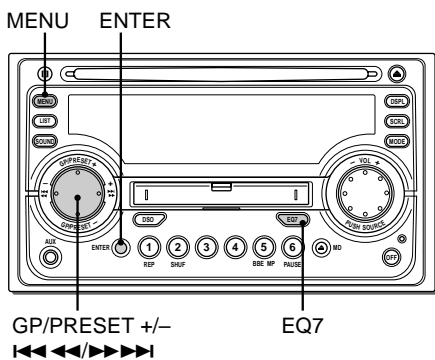


約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを使う (EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらに好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

イコライザーカーブを選ぶ



1 設定するソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。

2 EQ7ボタンを繰り返し押し、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

Xplod → Vocal → Club → Jazz →
New Age → Rock → Custom → off
→ Xplod → ...



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順2で「off」を選びます。

ご注意

- 3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- DSOの設定中は、DSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えています。

ちょっと一言

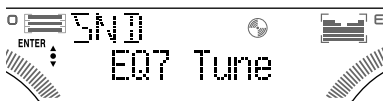
イコライザー設定は各ソースごとに記憶されません。

好きなイコライザーカーブを登録する

1 設定するソース (CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「EQ7 Tune」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。

5 ⏮ ⏪ または ⏩ ⏭ を繰り返し押し、イコライザーカーブを選ぶ。

6 ENTERボタンを押す。

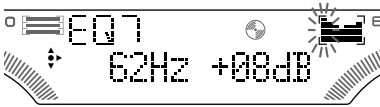
[次のページへつづく](#)

7 ◀◀◀または▶▶▶を繰り返し押し、周波数を選ぶ。

押すごとに、周波数は次のように切り換わりします。

62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔
1.0kHz ↔ 2.5kHz ↔ 6.3kHz ↔
16kHz

8 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、レベルを調節する。



レベルの調節可能範囲は±10dBです。
手順7と8を繰り返し、イコライザカーブを調節します。

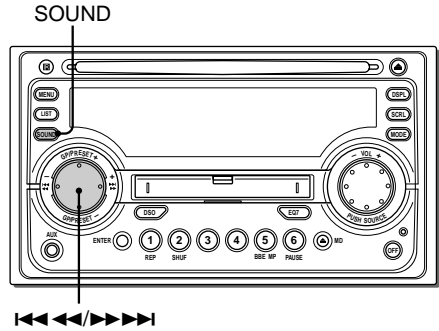
9 ENTERボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには
手順7または8でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

ご注意

手順5で「off」を選ぶと、イコライザカーブの調節はできません。

音質や音のバランスを設定する(バス・トレブル・バランス・フェーダー)



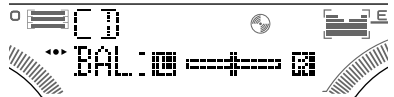
1 ソース(CD、MD、ラジオまたはAUX)を再生/受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押し、サウンドの項目を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わりします。

BAS → TRE → BAL → FAD →
通常画面 → BAS → ...

バランス(BAL)の設定表示



BAS: 低音の音質
TRE: 高音の音質
BAL: 左右のスピーカーバランス
FAD: 前後のスピーカーバランス

3 ◀◀◀または▶▶▶▶▶を繰り返し押し、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ご注意

3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻りません。

Demo* ²	再生/受信の停止中にデモを on(●)/offする。
A.Scroll	on : CD TEXT、MP3、ATRAC CDまたはMDの表示を自動的にスクロールさせる。(16ページ) off(●): スクロールさせない。

P/M(Play Mode)メニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●): 初期値
Local	電波の強い放送局を受信する。(on/off(●))(19ページ)
Mono	ステレオFM放送をモノラルにする。(on/off(●))(19ページ)
IF	FM受信の周波数帯域を自動的に調節する。(Auto(●)/Wide)(19ページ)

SND(Sound)メニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容 (●): 初期値
EQ7 Tune	イコライザーカーブを調節する。(23~24ページ)
Loudness	音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくする。 (on/off(●))
AUX Level* ⁴	AUX IN(外部音声入力)に接続した機器の出力レベルを設定する。(32ページ)

EDITメニュー

設定の種類 (表示項目)	設定内容
Name Edit	ディスク/放送局に名前をつける。(27ページ)
Name Delete	ディスク/放送局の名前を消去する。(28ページ)
BTM	放送局を自動で登録する。 (18ページ)

- *¹ 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ビツ」という音は出ません。
- *² OFFボタンを押して、時計表示にしているときのみ設定することができます。
- *³ ソースの再生/受信中の場合のみ表示します。
- *⁴ ソースがAUXの場合のみ表示します。

ご注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

ちょっと一言

- GP/PRESETボタンの+または-を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリーがスキップします。
- メニュー設定中に、選択可能なボタンを示す「▲」が表示されます。
- 設定項目を選択した後、ENTERボタンを押す必要があるときは「ENTER」が点灯します。
- 選択をキャンセルするには、手順3の前にMENUボタンを押します。

ディスク/放送局に名前をつける

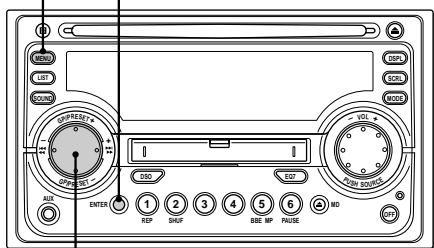
(カスタムファイル・ディスクメモ・ステーションメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

MENU ENTER



GP/PRESET +/-
◀◀◀◀▶▶▶▶

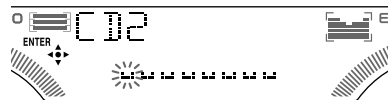
名前をつける

1 名前をつけたいCDまたは放送局を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、**「Name Edit」**を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。



5 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、入力する文字を選び、▶▶▶▶を押して次の文字に移動させる。

スペースを入れたいときは、続けて▶▶▶▶を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモやリスト機能を操作することはできません。

ちょっと一言

- 手順5でGP/PRESETボタンの+または-を押すごとに
A ↔ B ↔ ... Z ↔ 0 ↔ 1 ↔ ... 9 ↔ +
↔ - ↔ * ↔ / ↔ \ ↔ ↔ ↔ ↔ ↔
..(スペース) ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは、◀◀◀◀を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

次のページへつづく

その他の操作

名前を消去する

- 1 名前を消去したいCDが入った機器を再生中、またはラジオの受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「Name Delete」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、消去するディスク名または放送局名を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。
選択したディスク名または放送局名が消去されます。
ほかのディスク名または放送局名を消すときは手順4、5を繰り返します。

- 6 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。
-

ご注意

ディスク名の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

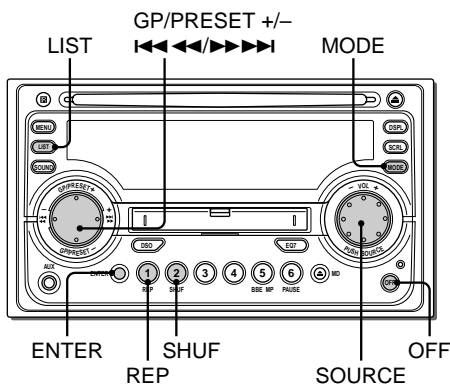
ちょっと一言

- CD TEXTの入ったディスク名を消去すると、もとのCD TEXTの情報が表示されます。
- 「ディスク/放送局に名前をつける」の手順5で、すべての文字に「.」（スペース）を入力して名前を消すこともできます。
- 名前がすべて消去されている場合は「NO Data」と表示された後、通常の画面に戻ります。

別売りの機器をつなぐ

CD/MDチェンジャーを聞く

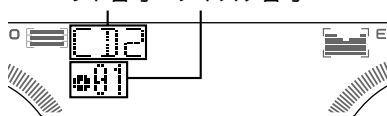
本機は、別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続して操作することができます。



1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

CD/MD

ユニット番号 ディスク番号



2 MODEボタンを繰り返し押して、CD/MDチェンジャーを選ぶ。

CDの場合

- CD1(本機)→
- CD2(CDチェンジャー1)→
- CD3(CDチェンジャー2)→ ... →
- CD1 → ...

MDの場合

- MD1(本機)→
- MD2(MDチェンジャー1)→
- MD3(MDチェンジャー2)→ ... →
- MD1 → ...

再生をやめるには

SOURCEボタンを押して別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、同じチェンジャー内の次のディスクを再生します。

[次のページへつづく](#)

その他の操作

スキップ操作

種類	操作
ディスク	チェンジャーを再生中にGP/PRESETボタンの+または-を押す。
グループ	再生中にGP/PRESETボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。 (1秒以内に再びボタンを短く押すと、1つずつ送れます。)
曲	再生中に◀◀◀または▶▶▶を短く押す。
曲中の聞きたいところ	再生中に◀◀◀または▶▶▶を押し続けて、聞きたいところで離す。

繰り返し聞く(リピート再生)

再生中にREPボタンを繰り返し押しします。

表示	機能
REP Track	再生中の曲を繰り返す。
REP Group*	再生中のグループ内の全曲を繰り返す。
REP Disc	再生中のディスク内の全曲を繰り返す。
REP off	リピート再生しない。

* MP3、ATRAC CD、グループ設定されたMD再生時のみ表示されます。

曲順を変えて聞く(シャッフル再生)

再生中にSHUFボタンを繰り返し押しします。

表示	機能
SHUF Group*	再生中のグループ内の全曲を順不同に再生する。
SHUF Disc	再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する。
SHUF Changer	再生中のチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生する。
SHUF All	再生中のソース(CDまたはMD)のすべての機器の全ディスクを順不同に再生する。
Shuffle off	シャッフル再生しない。

* MP3、ATRAC CD、グループ設定されたMD再生時のみ表示されます。

ご注意

「SHUF All」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF Changer」、「SHUF All」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

ディスクを名前で探す(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3を再生する場合*
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* ディスクメモ機能(27ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。

2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、聞きたいディスクを選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。
再生が始まります。

ご注意

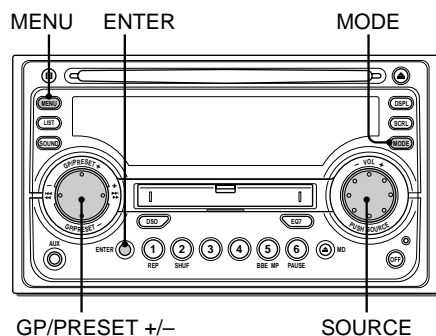
CD TEXTで、記録されている文字数が極端に多い場合は、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在選択中のディスク名の左側には「▶」が表示されます。

ポータブル機器の音声を聞く(AUX)

本機には、前面と後面に外部音声入力(AUX)端子があり、後面のAUX IN端子はバス音声入力(BUS AUDIO IN)端子と兼用です。別売りのCD/MDチェンジャーを接続する代わりに、別売りのDVDプレーヤーやオーディオプレーヤーなどのポータブル機器を接続し、その音声を車のスピーカーから聞くことができます。



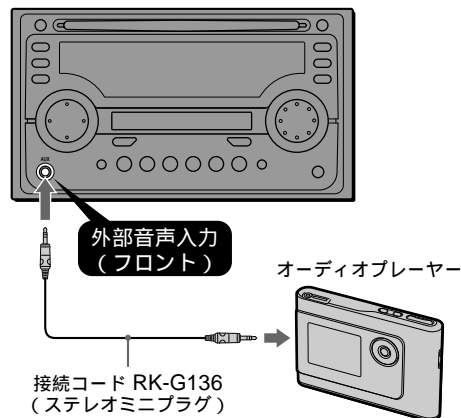
接続する

前面に接続するには：

以下の説明をご覧ください。

後面に接続するには：

36ページをご覧ください。



次のページへつづく

ソースを設定する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押しして、「AUX」を選ぶ。



- 2 MODEボタンを押して「Rear IN」(後面)または「Front IN」(前面)を選ぶ。

- 3 ポータブル機器の再生を始める。
-

出力レベルを調節する

- 1 設定する機器(「Rear」または「Front」)を選んでおき、MENUボタンを押す。

- 2 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押しして、「AUX Level」を選ぶ。

- 3 ENTERボタンを押す。

- 4 GP/PRESETボタンの+または-を繰り返し押しして、接続した機器に合わせて出力レベルを調節する。

- 5 ENTERボタンを押す。
通常の画面が表示されます。
-

ご注意

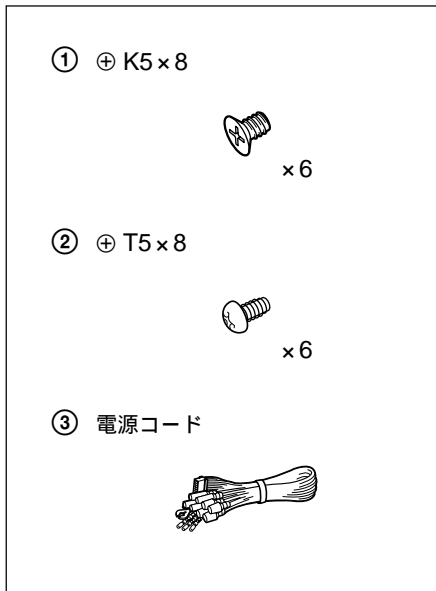
- 後面のAUX IN端子にポータブル機器を接続した場合は、バスコントロール入力端子には何も接続しないでください。接続していると、MODEボタンを押しても「Rear」に切り換わりません。
- 後面のAUX IN端子に別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続している場合は、前面のAUX端子をお使いください。
- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

ちょっと一言

- 本機に接続した機器によって音量調節は異なります。
- 出力レベルは「Rear」、「Front」それぞれで調節できます。調節可能範囲は±6dBです。

取り付け部品を確認する

取り付け部品（付属品）



接続する

接続する前に

- この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書も併せてご覧ください。
- 別売品の仕様については、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。
- FM/AMアンテナコード、バスケーブル、RCAピンコード、および電源コードの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。
- バスケーブルやコード類を外すときは、コネクター部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。
- 車両側から本機に配線する場合は、ソニー配線キットを必ずご使用ください。配線キットをご使用にならないと故障の原因となる場合があります。当社では車種別配線キットを用意してありますので、お買い上げ店にご相談ください。

[次のページへつづく](#)

スピーカーを接続するときは

次のことをお守りください。スピーカーの故障や破損の原因になります。

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8 のスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。
- スピーカーの⊕、⊖端子を車のシャーシなどに接続しないでください。
- 本機のスピーカーコードどうし(特に⊕端子どうし、⊖端子どうし)を接続しないでください。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの⊖側が共通になっているものは使わないでください。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、安全のため、端子にビニールテープを巻いてください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- トヨタ車や日産車、三菱車には当社のトレードインスピーカーがあります。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機のアース用コード(黒色)をスピーカーの⊖端子に接続しないでください。

ヒューズについて

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。

- 本機のバッテリー電源用コード(黄色)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)より小さい値であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によっては、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源用コード(赤色)を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機後面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れた時にパワーアンテナが自動的に出ます。

ACC(アクセサリ)ポジションの無い車に本機を取り付けた場合の操作上のご注意

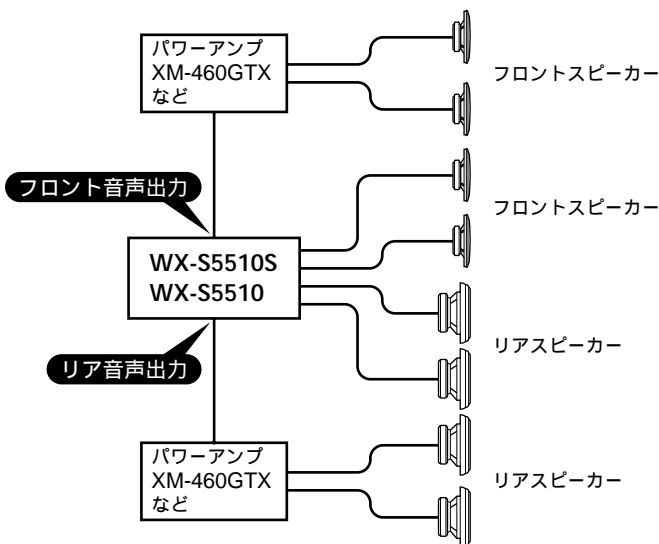
車を離れる際は、必ず本機のOFFボタンを押し続けて表示が消えたことを確認してください。

OFFボタンを短く押しただけでは表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

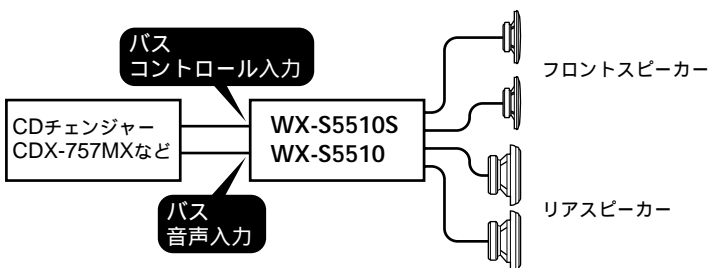
システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合は、ソースセクターXA-C30が必要です。

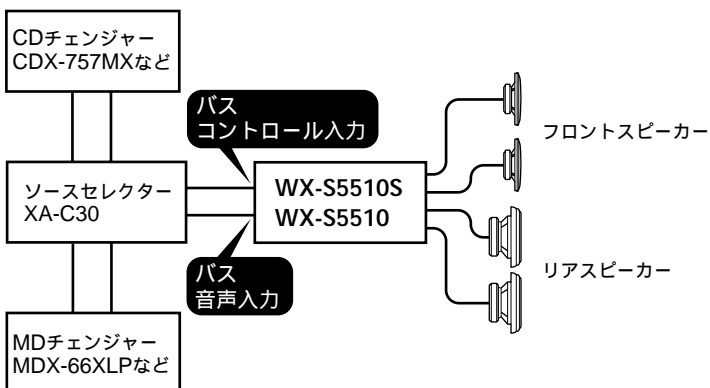
接続例1



接続例2

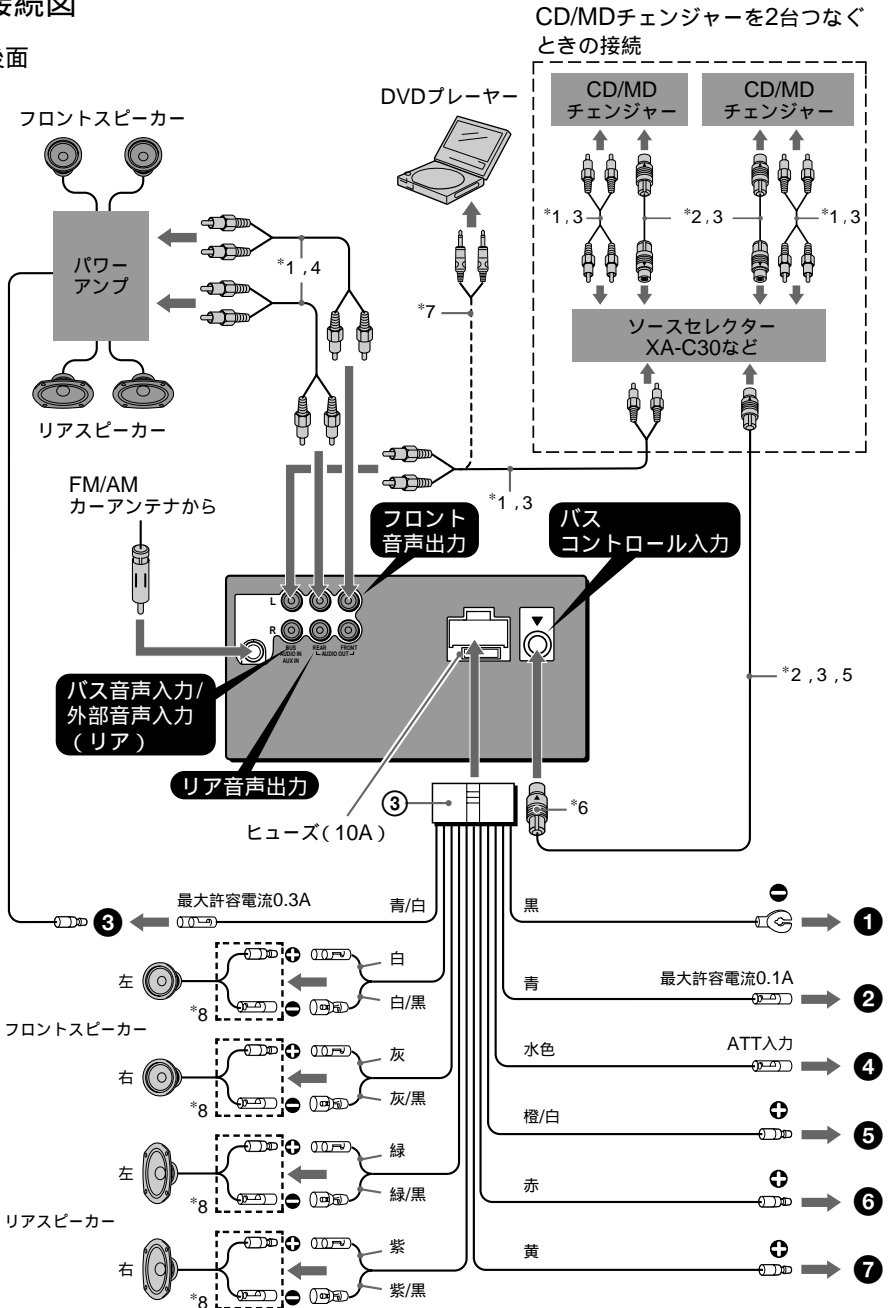


接続例3



接続図

後面



1 車体の金属部分へ

車体の金属部分に確実にアースしてください。

ご注意

赤色コード、黄色コードおよび橙/白色コードを接続する前に、このコードをアースしてください。

2 パワーアンテナコントロールコード、または純正アンテナブースターアンプの電源コードへ

ラジオの受信中は、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。

ご注意

- 車種（リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合）によっては、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続する必要があります。
- リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。
- 車側にパワーアンテナや純正アンテナブースターがない場合、あるいは手動式のロッドアンテナの場合には接続の必要はありません。
- ノイズ防止のため、スピーカーコードや電源コードからできるだけ離して取り付け、配置してください。

3 パワーアンプのリモート入力へ
パワーアンプへの接続専用コードです。**ご注意**

他の機器へ接続すると故障の原因となります。

4 カーナビゲーションシステムのATT出力コードへ

ソニーのカーナビゲーションシステムのATT出力に接続します。カーナビゲーションシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。（ナビATT機能）

5 車両のイルミネーション電源へ
車のヘッドライト（スモールランプ）スイッチを入れたとき、本機のディスプレイが減光します。**ご注意**

必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

6 アクセサリー（ACC）電源へ
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ（ラジオ回路など）に接続します。**ご注意**

- 必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。
- バッテリー電源など、常時通電しているところには接続しないでください。バッテリーあがりの原因となります。ただし、アクセサリ（ACC）ポジションがない車の場合は、バッテリー電源へ接続してください。その際、接続した後、本機のOFFボタンを押し続け、表示が消えていることを確認してください。表示されたままだと、バッテリーあがりの原因となります。

7 バッテリー（BAT）電源へ（常時通電している電源へ）

車のキーの位置に関係なく、常時通電していてヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションスイッチをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

ご注意

- 必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。
- 以下のことを確認してください。異常が生じたとき車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。
 - 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側（純正ラジオ用バックアップ電源）のヒューズ容量より小さい値であること。
 - アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量より小さい値であること。
 - 車両側の容量が小さい場合は、バッテリーから直接電源を引くこと。

*1 RCAピンコード

*2 バスケーブル

*3 CD/MDチェンジャーまたはソースセクターに付属のRCAピンコード/バスケーブル、またはRC-61(1m)、RC-62(2m)などをご使用ください。

*4 市販のRCAピンコードをご使用ください。

*5 車両側に接触するときは、RC-U305(0.5m)をご使用ください。

*6 ケーブルの▲と本体側の▼の位置を合わせ、確実に接続してください。

*7 DVDプレーヤーに付属。

*8 スピーカーがギボシ端子に加工されていない場合は、市販のギボシ端子で加工し、接続してください。

取り付ける

取り付ける前に

接続しないコードは金属部分を露出したままにせず、絶縁して取り付けてください。絶縁しないと故障の原因となります。

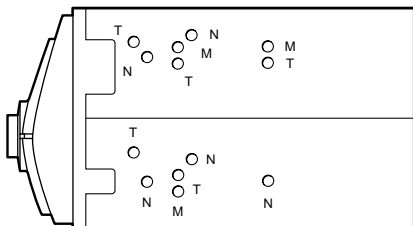
取り付け場所

次のような場所には取り付けないで下さい。

- 運転の妨げになる所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機を取り付けることができます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車上記以外のときは、取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

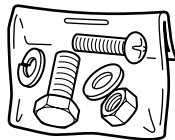
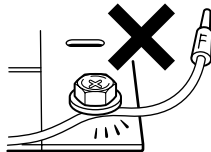


ご注意

- 水平から+45°以内で取り付けてください。45°を超えて傾けて取り付けると、CDやMDの音とびなどの原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるときは、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用)、N(日産車用)、M(三菱車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。

ビス・ナット類のご注意

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失ないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



本体を取り付ける

1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正カーオーディオを取り外します。

(取り外しかたがわからない場合は、裏表紙に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

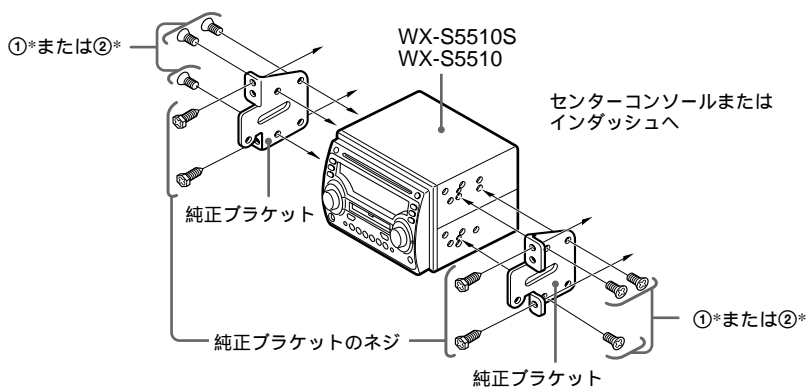
2 本機を取り付ける。

カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

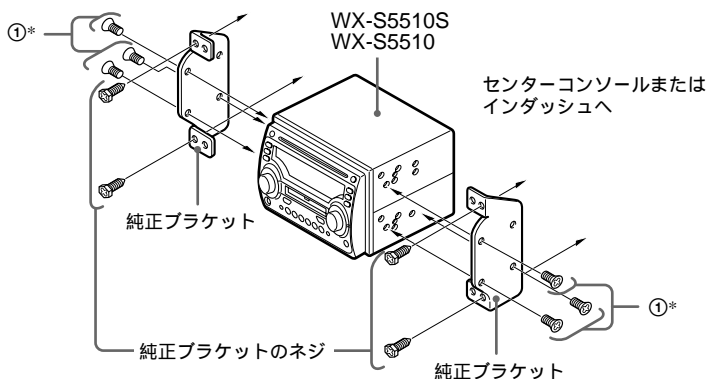
トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてください。

三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをお使いください。



日産車の場合



次のページへつづく

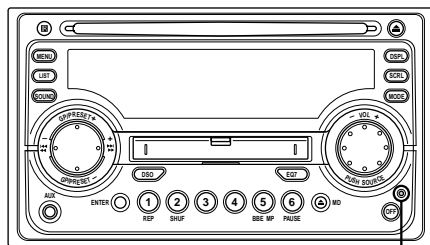
* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。また、車両側の純正ブラケットを通さず、本体に直接ネジを締め付けると故障の原因となります。

ご注意

- 本機のフロントパネル部の表示窓を押ししたり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

取り付けと接続が終わったら

- 1 取り付けや接続に誤りがないか、各コードは確実に接続されているかを、もう一度確認する。
- 2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウinker、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する。
- 3 リセットボタンをつまようじの先などで押す。



リセットボタン

- 4 本機が正しく動作するか確認する。

ご注意

- リセットボタンを針のようなもので強く押すと故障の原因となります。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDおよびMDを挿入しないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- すでにディスクが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクを傷めることがあります。

• 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



• レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



• お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



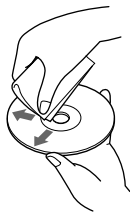
次のページへつづく

お手入れ

演奏する前に、演奏面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へ拭きとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

MP3(MPEG1 Audio Layer3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すると、もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠

マルチセッションで記録したディスク

ID3タグ ver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4

最大フォルダー(グループ)数: 150(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーを含む)

最大ファイル(トラック)数、フォルダー(グループ)数は合わせて最大300まで

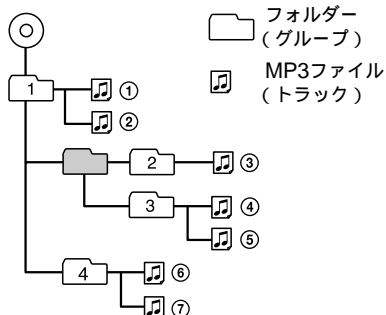
最大フォルダー(グループ)名、ファイル(トラック)名: それぞれ32文字(Joliet)、32/64文字(Romeo)

最大ID3タグ: 15/30文字(ver.1.0、1.1、

2.2、2.3)、63/126文字(ver.2.4)

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



ご注意

- ファイナライズ処理をしたディスクを再生してください。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」をつけてください。
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。
- 次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate : 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
 - 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
 - 最初のセッションのオーディオCDデータのみ通常に再生し、その他のデータはとばします。
 - 2番目以降のセッションのデータは、すべてとばします。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
 - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
 - ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ATRAC CDについて

ATRAC CDとは、ATRAC3形式またはATRAC3plus形式のファイルを開MG技術で暗号化して記録したCDのことです。

ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Codingの略)は音声信号圧縮方式の一つです。本機では、ATRAC3およびATRAC3plusフォーマットに対応していません。ATRAC3はもとの音声データを約1/10に、ATRAC3plusでは約1/20に圧縮するため、1枚のCD-ROMにCD約30枚分*を録音できます。

* 1枚60分のアルバムを700MBのCD-R/RWに48kbpsで録音した場合。

ATRAC CDで使用できるファイル(トラック)数、フォルダー(グループ)数は次のとおりです。

- 最大ファイル数 : 999
- 最大フォルダー数 : 255

ATRAC CDについて詳しくは、SonicStageまたはSonicStage Simple Burnerの説明書をご覧ください。

ご注意

ATRAC CDを作るには、Sonyのネットワーク製品に付属しているSonicStage 2.0以降、またはSonicStage Simple Burner 1.0 /1.1などのソフトウェアが必要です。

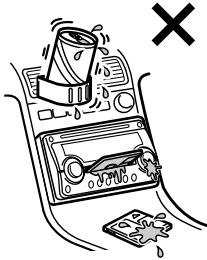
[次のページへつづく](#)

MDについて

MDの取り扱い

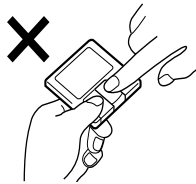
MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



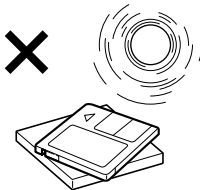
MD内部に直接触れない

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

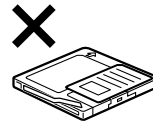
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



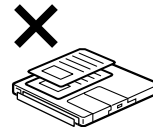
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

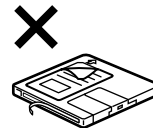
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



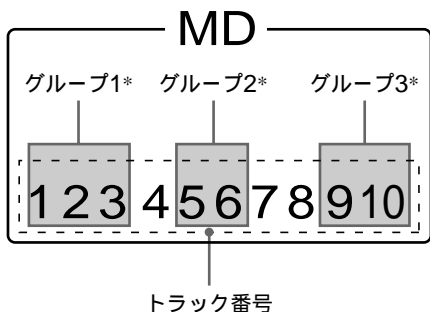
「グループ機能」について

グループ機能は多数のトラックを録音したMDや、MDLP(LP2/LP4)モードで録音したMDを再生するときなどに便利です。

グループ設定についてのご注意

- 本機はMDの再生のみご利用になれます。MDの録音やグループの設定については、お手持ちのMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 1枚のMDの中で同じグループ名を使って登録することができます。
- グループ番号は最大で99まで登録することができますが、実際に登録可能なグループの数はMDレコーダーの機能により異なります。
- お手持ちのMDレコーダーによっては、グループ機能をご利用になれない場合があります。

グループ設定されているMD



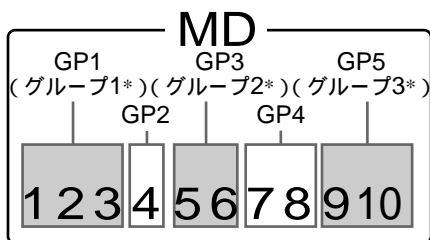
* MDレコーダーで設定されたグループ

グループ設定されたMDを本機に挿入すると、自動的に再生が始まり、曲順に演奏されます。

本機による仮想グループ設定

本機はグループ設定されたグループの間にある1曲、または数曲を「GP」(グループ)として認識します。したがって、MDレコーダーによってグループ設定されたグループと同様にグループ設定されていない曲にも「GP」番号が割り当てられます。グループ設定されたMDを本機で再生すると、グループが変わったときに「GP」番号を表示します。

グループ設定のあるMDと割り当てられた「GP」番号



グループ機能の使いかたについては、「CD/MP3/ATRAC CD・MDを聞く」(15ページ)、「繰り返し聞く(リピート再生)」(17ページ)、「曲順を変えて聞く(シャッフル再生)」(17ページ)をご覧ください。

ご注意

グループ機能は、グループ設定されたMDを本機で再生した時のみ使用できます。

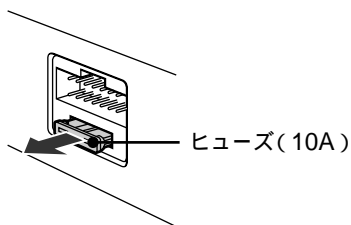
[次のページへつづく](#)

本機の取り扱い

本体の表面を傷めないために
本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といえます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、本機が動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

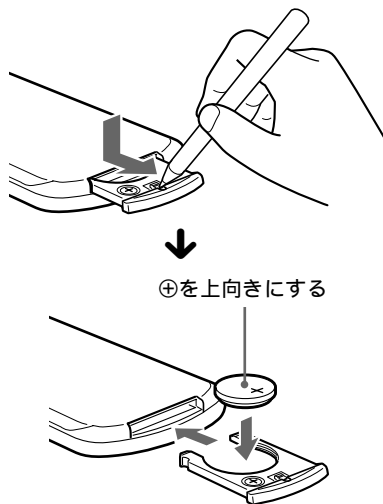
表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくる場合があります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコンの電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

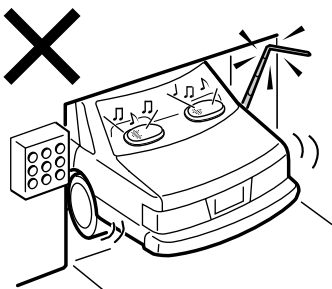
カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• アース用コード(黒色)、アクセサリ電源用コード(赤色)、バッテリー電源用コード(黄色)が正しく接続されていない。• スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。• スピーカーコードが外れている。• MP3未対応のCDチェンジャーでMP3ディスクを再生している。 →本機またはソニー製MP3対応CDチェンジャー(CDX-757MXなど)で再生してください。• 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。 →本機またはソニー製MDLP対応MDチェンジャー(MDX-66XLPなど)で再生してください。
共通 フロントスピーカーとリアスピーカーの音が逆に出る。	スピーカーコードが逆に接続されている。 →スピーカーコードの接続を確認してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー電源用コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 →Beepの設定を「on」にしてください。(25ページ)• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを押し続けるかSOURCEボタンを押す、またはディスクを挿入して表示を出してください。

症状	原因・処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 車のバッテリーが正しく接続されていない。 電源コードが正しく接続されていない。 イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。 ヒューズが切れている。 → 「ヒューズについて」(34、46ページ)をご覧ください。 るか、お買い上げ店にご相談ください。
勝手に「ATT」表示が点滅して音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機のナビ用ATT入力コード(水色)とソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内時は自動的に「ATT」表示が点滅して音量が下がります。 本機のナビ用ATT入力コード(水色)の先端部分が車の金属部にショートしている。 → コードの先端部分をビニールテープ等でショートしないように保護してください。
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを押し続けてください。
オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
車のライトをONにしても表示窓が減光しない。	イルミネーション電源用コード(橙/白色)が正しく接続されていない。

共通

その他の情報

[次のページへつづく](#)

症状	原因・処置
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル(レーベル)面を上にして入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が45°を越えている。 • 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 • 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。 • 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。 • MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
ATRAC CDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが、SonicStageやSonicStage Simple BurnerなどのATRAC CD作成専用ソフトで作られていない。 • グループに属していない曲(トラック)は再生されません。
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • MP3未対応のCD機器の場合はCDと認識し、無音再生します。 • ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 • MP3ファイルに拡張子がない。 → 記録した機器で拡張子「.mp3」をつけてください。 • MP3ファイル以外に拡張子「.mp3」をつけている。
MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ換えてください。 • 長時間録音されたMDをMDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生している。 → 本機またはソニー製MDLP対応MDチェンジャー(MDX-66XLPなど)で再生してください。
MDが一時停止できない。	本機で一時停止ができるのはCD再生時のみです。
名前が正しく表示されない。	ディスクを作成した環境によっては、文字が正しく表示されない場合があります。

症状	原因・処置
受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源用コード(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 ・ アース用コード(黒色)が正しく接続されていない。 ・ カーアンテナとの接続を確認してください。 ・ オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールコード(青色)の接続を確認してください。 ・ 周波数を確認してください。 ・ IF機能が「IF Wide」になっている。 → 「IF Auto」にしてください。(19、25~26ページ)
ラジオ I◀◀または▶▶▶▶Iを押し ても聞きたい放送局で止まら ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → ローカル受信を解除してください。(19、25~26ページ) ・ 電波が弱くて自動選局できない。 → I◀◀◀または▶▶▶▶Iを押し続けて周波数を合わせてください。
ステレオ放送が聞きにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周波数を確認してください。 ・ 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください。(19、25~26ページ) ・ DSOの設定を「off」にしてください。(22ページ)
サウンド設定 音が出ない。 音が小さい。	<p>左右のスピーカー出力のバランス(BAL)、フロントとリアの出力レベル(FAD)の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、FADを調節してください。(24ページ)</p>
その他 SOURCEボタンでAUXが選 べない。	<p>AUXを表示しない設定になっている。 → 「AUX-A」の設定を「on」にしてください。(25ページ)</p>

エラー/メッセージ表示

表示	原因	処置
Blank	MDIに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
Failure	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」(33ページ)を見る。
Load	チェンジャーがディスクを読み込んでいる。	読み込みが終わるまでお待ちください。
Local Seek +/-	ローカル受信で放送局を探している。	放送局を受信するまでお待ちください。
NO Data	ディスク名、放送曲名が消去されている。	「ディスク/放送局に名前をつける」(27ページ)で名前をつける。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Disc Name	ディスク名がついていない。	ディスク名、グループ名、曲名のついたディスクを再生する。
NO Group Name	グループ名がついていない。	「ディスク/放送局に名前をつける」(27ページ)で名前をつける。
NO Track Name	曲名がついていない。	
NO ID3 Tag	再生しているMP3ファイルにID3タグがついていない。	ID3タグのついたMP3ファイルを再生する。
NO Info	再生しているATRAC CDに文字情報が無い。	文字情報が記録されているATRAC CDを再生する。

表示	原因	処置
NO Magazine	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO Music	本機またはMP3対応のCDチェンジャーに、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
Not Read	ディスクの情報を読み込んでいない。	読み込みが終わるまでお待ちください。
Not Ready	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Offset	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 ディスプレイのエラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口に相談する。
Read	ディスク内のすべてのトラック情報、グループ情報を読み込んでいる。	読み込みが終わると再生が始まります。しばらくお待ちください。ディスクの階層などによっては、再生開始までに時間がかかることがあります。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
 または 	CDの手動サーチ中に、ディスクの先頭または終わりになった。	それ以上前、または先に進めることはできません。
	「Name Edit」(名前入力)モードに入っている。(27ページ)	ENTERボタンを押す、またはLISTボタンを2秒以上押し続けると、通常の画面に戻ります。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比: 120dB

周波数特性: 10~20,000Hz

ワウフラッター: 測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比: 90dB

周波数特性: 10~20,000Hz

ワウフラッター: 測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数: 76~90MHz(テレビ1~3ch)

中間周波数: 10.7MHz/450kHz

実用感度: 9dBf

周波数特性: 30~15,000Hz

実効選択度: 75dB(400kHz)

SN比: 67dB(ステレオ)、69dB(モノラル)

ひずみ率(1kHz): 0.5%(ステレオ)

0.3%(モノラル)

ステレオセパレーション: 35dB以上(1kHz)

AM

受信周波数: 522~1,629kHz

中間周波数: 10.7MHz/450kHz

実用感度: 30μV

アンプ部

適合インピーダンス: 4~8

最大出力: 52W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源：DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）

出力端子：

- フロント音声出力端子
- リア音声出力端子
- アンプコントロール
- アンテナコントロール

入力端子：

- 外部音声入力（フロント）端子
- バス音声入力端子/外部音声入力（リア）端子
- バスコントロール入力端子
- リモートコントロール入力端子
- FM/AMアンテナ入力端子（Jaso用）
- ATT入力端子（ナビ用）
- イルミネーションコントロール入力端子

トーンコントロール：

- 低音：±8dB（100Hz）
- 高音：±8dB（10kHz）

ラウドネス：

- 100Hz：+8dB
- 10kHz：+2dB

本体寸法：

約178×100×186mm（幅/高さ/奥行き）

取付寸法：

約178×100×161mm（幅/高さ/奥行き）

質量：約2.1kg

付属品：

- 取り付け/接続部品（一式）
- 取扱説明書（一式）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

別売品：

- カードリモコン RM-X114
- CDチェンジャー（10枚）CDX-757MXなど
- MDチェンジャー（6枚）MDX-66XLPなど
- パワーアンプ XM-460GTXなど
- 外部入力セレクター XA-300
- ソースセレクター XA-C30
- バスケーブル（RCAピンコード付属）
 - RC-61（1m） RC-62（2m）
- バス延長コード RC-U305（0.5m）
- 電源コード RC-39
- 接続コード RK-G136

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、ドルビーラポラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

アース 34、37~38
イコライザー 8、23~24
エラー表示 52~53
オートスクロール 26
音量 10~11、13

カ行

カスタムファイル 27~28
カードリモコン 14、46~47
コントラスト 25

サ行

シャッフル 17、30
純正アンテナブースター
..... 34、37
スキップ 30
スクロール 16、26
ステーションメモ 27~28
ステレオ放送 19
スピーカーバランス 24

タ行

ディスクメモ 27~28
デモ 9、26
電源コード 33~34、36~37
登録
 自動登録 18
 手動登録 20
時計 9
トレブル 24

ナ行

名前

探す 21、31
消去する 28
つける 27
表示する 16、18

ハ行

パス 24
バスケーブル 33、37
バッテリー電源 34、37
バランス 24
パワーアンテナ 34、37、47
ヒューズ 34、46
表示窓
 CD/MP3/ATRAC CD・MD
 16
 ラジオ 18
 フェーダー 24
ベストチューニングメモリ -
 (BTM) 18
ボタンの音 25

マ行

メッセージ表示 52~53
モノラル 19

ラ、ワ行

ラジオ 11、18~21
 自動選局 11、18
 登録 18、20
 名前で探す 21
 名前を消去する 28
 名前をつける 27
リスト 21、31
リセット 9、40
リピート 17、30
リモコン
 カードリモコン
 14、46~47

アルファベット順

ACCポジション 13、34
A.Scroll 16、26
ATRAC CD
 8、15~17、43
ATT 14
AUX-A 25
AUX Level 26、32
BAL 24
BAS 24
BBE MP 8、13
Beep 25
BTM 18、26
CD/MDチェンジャー 29~31
CD/MP3/ATRAC CD・MD
 8、15~17、41~45
CD TEXT 8
Clock 9、15、18、25
Clock Adjust 9、25
Contrast 25
Demo 9、26
Dimmer 25
DSO 8、22
EQ7 8、23~24
EQ7 Tune 23~24、26
FAD 24
FM/AMアンテナ
 33~34、36
IF Auto/Wide 19、26
Local 19、26
Loudness 26
M.Dspl 25
MDLP(LP2/LP4)
 8、16、45
Mono 19、26
MP3 8、42~43
Name Delete 26、28
Name Edit 26~27
PAUSE 10、15
REP 17、30
SHUF 17、30
TRE 24

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車輛形式別の

カーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手 / 03-3552-7209 車種メーカー別のBOX番号を受信

②資料請求 / 03-3552-7488 アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号
を入力してください。

24時間

お手元のFAXで

資料が取り出せませ


- ・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- ・FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭りの場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- ・ 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています(80%以上)。
- ・ 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- ・ キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- ・ 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用していません。